



校舎9号館前庭風景

日本大学
国際関係学部

校友会々報

第44号

静岡県三島市文教町2-31-145
日本大学国際関係学部
校友会

◎常任幹事会
平成二十五年六月八日(土)十六時から、国際関係学部本校舎

舍十五号館五階(五〇四教室)において開催された。相田信次会長挨拶の後、会長進行により議事に移り、幹事会提案事項について田中由雄幹事長から各項目ごと詳細にわたり説明があり審議された。

平成二十五年六月八日(土)十七時から、常任幹事会に引き継いで幹事会が開催された。岡野清二常任幹事の司会で進行され、相田信次会長挨拶の後、議長団・書記が選出された。議長には西野和衛常任幹事、副議長には齊藤聰常任幹事、書記には神部相代常任幹事がそれぞれ選出され、次の議事が審議された。

一 平成二十四年度事業報告

一 平成二十四年度決算報告

一 新幹事に関する件

一 平成二十五年度事業計画(案)

一 平成二十四年度予算(案)

一 監査報告

一 校友会功労者表彰に関する件

一 就職合同面接会実行委員に関する件

一 校友会会員名簿連携状況について

一 その他

田中由雄幹事長から、平成二十四年度事業報告引き続き平成二十四年度決算報告の二件が報告され、藤本文彦会計監査から監査報告があり、それぞれ承認された。

校友会員名簿完成まで校友への通知等を密にするため、平成二十五年度は国際関係学部六名・商経学科一名・食物栄養学科十二名が新幹

平成二十五年度常任幹事会・幹事会開催

事として事務局から推薦があり承認された。

統いて平成二十五年度事業計画

(案)について及び平成二十五年度収支予算(案)については田中由雄幹事長から提案説明がなされ、審議の結果、二議案とも承認された。

校友会顧問でありました石川貞夫氏が昨年十月で満八十歳を迎えられ役員を定年となり、その功績に感謝の意をこめ賞状並びに記念品を贈呈したい旨の説明があり承認された。

就職合同面接会実行委員に関する件については田中由雄幹事長から

国際関係学部四年生及び短期大学部二年生の卒業予定者対象とした就職合同面接会を平成二十三年度から開催した。昨年度は平成二十四年十二月七日に第二回就職合同面接会を開催し十五社の企業で十二

名の学生の参加があつた旨の報告があり。本年度も引き続き開催する計画であり、実行委員会として別紙名簿の方々を委員として委嘱したい旨の提案がなされ、審議の結果、承認された。

統いて校友会会員名簿連携状況については田中由雄幹事長から短期大学部各科同窓会に関してはデータ修正が完了しております。現在は国際関係学部同窓会のデータ修正をしております。全データの完成は本年度末を予定している旨の報告がなされた。

その他としては田中由雄幹事長から、会報(第四十四号)発行について例年のとおり校友会優秀賞授与者個人二名及び各学生団体三団体の委員長に原稿依頼をした旨の報告がなされた。

「試練の克服に向けて」



国際関係学部学部長

佐藤 三武朗

「ご協力に感謝」



国際関係学部事務局長

関 秀三

国際関係学部校友会の皆様におかれましては、ご清栄のこととお喜び申し上げます。校友会の皆様のご理解によつて、三島キャンパスに学ぶ学生たちは多くの精神的・物質的支援を頂いています。心から感謝を申し上げたいと思います。

さて、一昨年は東日本大震災に見舞われ、日本大学も本部を中心には被災者に対する支援を致しました。校友会の皆様が、温かい手を差し伸べて下さったことに對して心から感謝申し上げます。一日も早い復興と復旧が進むことを祈念しています。

日本大学は、六年後に、大学創設三〇周年を迎えます。校友会の皆様のご支援を頂きましたく、紙面を借りてお願ひ申し上げます。新学部を作り、新病院、小学校、寮などの建設を行います。私学の雄として、「日本一の教育力」ある大学を目指しているからです。将来的には、

して、施設の充実、教育環境の整備などに専心します。明治二十二年に「日本法律学校」として産声を上げて以来、日本大学は希有名人材の輩出に力を注いで参りました。正に日本の発展に尽力し、その貢献の証は日本全国で活躍する校友の姿に見出されると思います。

三島キャンパスが立地する静岡県東部地域における校友の活躍には目覚ましいものがあります。私は心から感謝申し上げます。校友の皆様の姿は、私の誇りであります。

校友の皆さんもご存じのように、大学を取り巻く状況には実際に厳しいものがあります。日本全国の諸大学が直面しているのが少子化の問題です。志願者の激減は、大学にとって深刻な問題です。学生の納付金によって、教育と研究の費用が貯まっています。私学の雄として、「日本一の教育力」ある大学を目指しているからです。将来的には、

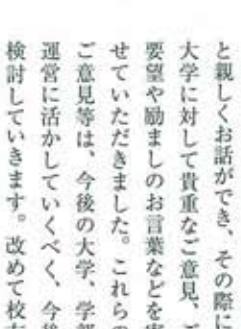
困窮を來す大学が増えると予想されます。日本大学も、経営の効率化と、教育の個性化を図る中で、生き残りを賭けた開いを強いられることになります。

あらゆる意味において、次世代を担う人材の育成は、国家の根幹に関わる課題であり、大学の存続に関わる課題と思いま

す。校友の皆さんもまた、上記の点を念頭に、今にも増して、ご支援とご理解を頂きたいと思います。

人材は宝です。逞しい志を持つ人材が集まる企業は発展します。健やかで秩序正しい社会を創るために、教職員は一丸となつて、学生の教育と指導に邁進します。校友の皆さんのお力を頂いて、歴史と伝統を重んじる日本大学の名声を高めたいと考えます。

校友の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。



全国の各界各層でご活躍の国際関係学部の校友の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、日本大学国際関係学部、短期大学部三島校舎の発展のために御支援御協力を賜ります。私は心から感謝申し上げます。校友の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

校友の皆様が立地する静岡県東部地域における校友の活躍には目覚ましいものがあります。私は心から感謝申し上げます。校友の皆様の姿は、私の誇りであります。

校友の皆様もご存じのように、大学を取り巻く状況には実際に厳しいものがあります。日本全国の諸大学が直面しているのが少子化の問題です。志願者の激減は、大学にとって深刻な問題です。学生の納付金によって、教育と研究の費用が貯まっています。私学の雄として、「日本一の教育力」ある大学を目指しているからです。将来的には、

全国の各界各層でご活躍の国際関係学部の校友の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、日本大学国際関係学部、短期大学部三島校舎の発展のために御支援御協力を賜ります。私は心から感謝申し上げます。校友の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

全国から参加された多くの校友と親しくお話しでき、その際に、大学に対して貴重なご意見、ご要望や励ましのお言葉などを寄せていただきました。これらの意見等は、今後の大学、学部運営に活かしていくべく、今後検討していきます。改めて校友

の母校への思いに感謝いたします。国際関係学部校友会からは、学生のために幾多の奨学金制度を設置していただき誠にありがとうございます。日本の経済状況は相変わらず好転せず、在学の学生の父母の中でも大変にご苦労されている方も多い見受けられます。また、経済上の都合で、学業を中断せざるを得ない学生もいます。その中の、奨学金制度は学生にとっても、学部にとっても大変に意義のある制度です。奨学金の授与式に立ち合ふ度に、奨学生の晴れがましい顔に感謝の気持ちが表れているのが感じ取れます。これからも奨学金制度の更なる充実をお願いいたしました。奨学生は、一生国際関係学部校友会の奨学生であることを胸に抱き、誇りに思い、社会で活躍していくことでしょう。

本年度の入試状況ですが、受

願志願者の数は、学部二学科で二、一、四名、短期大学部は二、三名、入学手続者は、国際政策学科四、二〇名、国際教養学科三、二二名、短期大学部ビジネス教養学科（旧商経学科）七、四名、食物栄養学科は一、一一名でした。昨年度に継続大変戦し、い入試戦線を余儀なくされております。

この度発表された学生生活実態調査（平成十二年実施）結果では、「今の学部でよかった」という学生が、調査開始以来、最高の八割に達しているが、一方でここ数年退学者が増加しているのが気になるところです。經濟的理由や不意入学、学業上の問題等とその理由は様々ですが、我々教職員が一体となり今まで以上に学生と向き合い、入学全員を卒業まで導き、各種の取り組みをしているところです。

昨年来本学部では、国際関係学部校友会が主催して県下のO B企業に呼びかけ企業セミナーを開催しています。生まれ育ったこの静岡県で職を求めたいという学生も大勢おります。昨年は、七八名の学生が採用され、この実績をもとに、本年度は二桁の内定者を目指し準備を進めているようです。学生の就職は年々厳しさを増している中、会社を経営している校友や会社の採用担当者には、一人でも多く

の本学部の卒業生を採用していた方々へお願い申し上げます。

只今、国際関係学部では教育振興資金の募集を行っています。この資金の目的は、学部及び短期大学部（三島）の教育研究、奨学金制度、国際交流の向上推進及び教育研究環境のより一層の整備充実を図るものであります。校友の皆様方におかれましては、主旨ご理解いただき、募金に応じていただけますようお願い申し上げます。

最後に、本学の教育環境の整備ですが、昨年は、北口校舎の竣工に伴い老朽化した一号館、四号館、女子寮寮室を解体し、四号館の跡地は駐車場、駐輪場として整備いたしました。今年度は、総合グランドの走路の張り替えを完了し、夏季休暇から十一号館の屋上防水工事及び外壁補修工事を行います。また、現在平成二十八年三月竣工を目指して、総合体育館（仮称）の建築の基本設計に取り組んでいます。老朽化した体育館、食堂などにとて代わるもので、解体した一号館等の敷地跡に地上三階建、延床面積約七、〇〇〇坪、バスケットボールコート四面、ランニングコース、食堂を兼ねた建物です。

学生諸君が安全な教育環境の下に、安心して学園生活を過ごせるように、これからもキャンパス整備を推し進めてまいります。校友会員の皆様には、これからも国際関係学部、短期大学部の卒業生を採用していただけるようお願い申し上げます。

只今、国際関係学部では教育振興資金の募集を行っています。この資金の目的は、学部及び短期大学部（三島）の教育研究、奨学金制度、国際交流の向上推進及び教育研究環境のより一層の整備充実を図るものであります。校友の皆様方におかれましては、主旨ご理解いただき、募金に応じていただけますようお願い申し上げます。

この資金の目的は、学部及び短期大学部（三島）の教育研究、奨学金制度、国際交流の向上推進及び教育研究環境のより一層の整備充実を図るものであります。校友の皆様方におかれましては、主旨ご理解いただき、募金に応じていただけますようお願い申し上げます。

平成二十五年度の日本大学国際関係学部校友会総会は昨年四月に三島駅北口前に竣工した三島駅北口校舎に於いて校友会会員の皆様にお披露目を兼ねて教職員、他学部の校友会長、校友席者は総勢九十名のご来賓及び会員の参加を頂き盛大に行われ、卒業して以来、初めて四十一年振りに総会へ出席した校友は旧友や恩師の方々と和やかに学生時代の思い出を語り合いました。この記念事業は日本大学の建学の精神でもある「自主創造」に向つて日本教育力のある総合大学への再生を最終目標とする人間力、即ち逞しさと優しさを持った人材の養成こそがその目的です。

さて、我が国際関係学部に向けますと、毎年受験志願者がスタートしました。目標額は一三〇億円で平成三十四年まで

「基本に立ち返る」



国際関係学部校友会副会長
国際関係学部同窓会会长
宮下 公雄

校友の皆さまにおかれましては多方面でご活躍のこととお喜び申し上げます。国際関係学部国際関係学科卒業の宮下公雄と申します。

母校日本大学国際関係学部を卒業し三十年の月日が経とうとしています。現在私はワインの輸入販売に特化した酒販店を経営しておりますが、この三十年消費の動向が大きく変わろうとしています。私が卒業した一九八〇年代は、バブル経済の全盛期の時代であり、「もの経済」の時代でもあります。まだ自動車が高嶺の花の時代で、自動車というだけで高く売れ、新製品や新サービスを導入するだけでエネルギーが生まれる時代で、車好きの私などソラ「シーマ」と聞くだけで心ときめく時代でもありました。

しかし、一九九〇年代から二〇〇〇年代になり、次第に物がいきなり物を買うことに感動を覚えな

ります。上昇します。国際関係学部国際関係学科卒業の宮下公雄と申します。

これまで、企業やマスメディアで発信される一方的な発言が支持されておりましたが、スマートフォンの普及でノートパソコンでさえ落日を迎えるほど変化にさらされています。

これまで、企業やマスメディアで発信される一方的な発言が支持されておりましたが、スマートフォンが発達した現代では個人のブログや消費者の立場からの信頼されるソースが優先され個人にスポットがあたる時代になりました。この商品を買うことによってだけ幸せを得られるか、どんな問題を解決してくれるのかと「ものの経済」から「ことの経済」へと移行しております。

南の世界で言えば、たとえば、お湯割りと言つとお湯に焼酎を注ぐのが普通一般的に思われるがちですが、実は焼酎を先に注ぎ後でお湯を注ぐのも正しく、アルコールの揮発性の関係でお湯が先の場合、焼酎が揮発しにくいのでマイルドになります。

こんなはしいものがなんでも手もありました。車好きの私などソラ「シーマ」と聞くだけで心ときめく時代でもありました。

こんなはしいものがなんでも手もありました。車好きの私などソラ「シーマ」と聞くだけで心ときめく時代でもありました。

しかし、一九九〇年代から二〇〇〇年代になり、次第に物がいきなり物を買うことに感動を覚えな

ります。上昇します。国際関係学部国際関係学科卒業の宮下公雄と申します。

昨年、国際ソムリエ協会の会長でもある田崎真也氏とお酒の席を持

たせて頂いた時に、ワインだけでなく、日本酒や焼酎にも大変詳しく、スタイルに学ぼうとする姿勢に感動しました。今年は、私自身ソムリエを取得してから十三年が立ち、私自身が基本に立ち返り、ブランディングを兼ねて清酒利き酒師、焼酎利き酒師の資格に挑戦しました。これが中々奥深くたとえば、清酒の五度の温度のお酒は「雪冷え」十度の温度で「花冷え」十五度で「涼冷え(すずびえ)」「冷や」

一般的には冷蔵庫で冷やしたものをおもとと言うがお酒の世界では常温酒、三十度のお酒を「日向酒(ひなたかん)」三十五度を「ひと肌觸(ひとはつせき)」四十度で「ぬる酒」四十五度で「上燭(じょうせき)」五十度で「熱燭(ねつせき)」五十五度以上で「飛び切り燭(ひきりせき)」と出されるお酒の種類と、お酒の温度が絶妙にマッチするタイミングを見つけるのが非常に面白い上に、五度の温度差だけで大変風流な名前がついています。焼

酎の世界で言えば、たとえば、お湯割りと言つとお湯に焼酎を注ぐのが普通一般的に思われるがちですが、実は焼酎を先に注ぎ後でお湯を注ぐのも正しく、アルコールの揮発性の関係でお湯が先の場合、焼酎が揮発しにくいのでマイルドになります。

私の昭和四十六年生まれの次男は、伊豆の並山にある江川坦庵ゆかりのN高校からアメリカのW州立大学へ留学し、現在もシアトルで生活している。この一家が偶々今年の初めに三島に来て、その時の夫婦での英語に

き続けてください。そして学生時代に培った自身の基本に立ち返る

上でも同窓会を、自分磨きの場として大いに活用して頂きたいと思

います。私も同窓会の折には、美味しいお酒を持って出席する予定であります。これからも国際関係学部校友会に皆様の支援をお願いいたします。

「英語について思う」



国際関係学部校友会顧問
角田 義廣

私は他の教科も出来は良くなかつたが、とくに英語は苦手であつた。英語とのかかわりが私の身の周りに起こることは、今まで想像したこととなかった。

よる会話や親子の会話を聴いて

刺激をうけたと思われる人が出てきたのである。

私の長女の長女、初孫が大学入試校の一つに全教科を英語で授業を行う大学を選び、最終的にこの大学に決め、今年の四月から通学を始めたのである。

この大学は東京大学出身のN先

生もいる。伊豆の並山にある江川坦庵ゆかりのN高校からアメリカのW州立大学へ留学し、現在もシアトルで生活している。この一家が偶々今年の初めに三島に来て、その時の夫婦での英語に

生が学校法人T学園の協力を得て平成元年多摩の地に設立したものである。

孫がこの大学に進学することを決めたのは多分、高校時代の英語の教科担任の指導内容がぐれおり、本人いわく「人間的にも、魅力があったよ」と、常々言つていたことで想像されるのである。人生の岐路で良い指導者に巡り合えたのは幸運であつた。

四月から通学を始めた彼女は、四月・五月・六月とみ月経つた。聴く耳の力はだいぶ付いてきたが、「耳の訓練はもっと早い年齢から始めるべきであった」というのが、彼女の感想である。さて、英語教育については、多くの専門家からあれこれ見聞きする機会はあるが、最近の記事を紹介することとする。今年の六月七日付朝日新聞「声欄」に、古典語学研究者・土岐健治氏が「キリスト教系の学校で米国人宣教師による英会話の授業を受けた。(中略)むしろ、その国の文書をきちんと読める真の教養を身につけるべきで、小学生からの英語教育などは論外。」

もう一人英語が話せるることを

前提の学者を紹介する。今年の六月十五日付朝日新聞「私の視点」欄に、名古屋外語大教授の

佐藤一嘉氏は「今年度から新学習指導要領に基づき、高校英語の授業が英語で実施された。現場では『受験対策も必要で大きく変わるべき』『ついでこれらも上がっているようだ』(中略)教育改革に必要な条件は、教材開発・指導法・教師の固定観念、学校文化を変えることである。

〔中略〕成功している学校に、共通するのは、3年間のコミュニケーション能力を伸ばし受験英語にも対応できる力を身につけた。成功の理由は「聴く・話す・読む・書く」4技能の統合を目指した「コミュニケーションタイプ・アプローチ」に基づいて実践したことだ。(後略)

この二人の先生の記事を読んで思うことは、学生生徒の能力をいかに延ばせるか、教師のプロとして学ぶ機会の保証。その意味で佐藤先生も言つてゐるが、教員免許状の取得期間を6年間にすることを真剣に考へた。実務界としては、最終学府を終了して実業界へ就労する学生には、少なくとも就職する業界の概況とかを知つておくとよい。更に就職する会社の概要是いろいろの手段を講じて知つておくといい。それが早ければ早い程よく行動に移すとよい。

例えば、当社のような税理士事務所であるならば、受け入れ

自分の将来を決める職業を選択することは非常に重要なことだが、皆さん割と甘く見ている。

「世の中は(資格)時代」



国際関係学部校友会参与

岩崎
一雄

少なくとも大学へ入学した頃より自分の将来の方向を決め、そな方向に向かって必要な知識や技能を磨き、資格制度があるならば積極的に挑戦し合格するよう努力すべきである。もし、資格試験に在学中に合格したならば、その資格を必要とする職場では、それこそ貴重な存在として大変大事に扱つてもらえるし、

本人としても納得出来る職場生활をすることができるであろう。縁あってせつかくこの世に生を受けたからには何か一つ世のため人のためになるような事をしてさえいれば卒業時には日商簿記検定の一級か二級ぐらいはいは定めて、それなりの行動をが一番良いことに異論はなかろう。

ところが、在学中の皆さんの大部分はどの方向に向かって行くのか。又、どのような職種を自分としては希望しているのかを明確に持つている人は少ないであろう。

実務界としては、最終学府を終了して実業界へ就労する学生には、少なくとも就職する業界の概況とかを知つておくとよい。更に就職する会社の概要是いろいろの手段を講じて知つておくといい。それが早ければ早い程よく行動に移すとよい。

自分の将来を決める職業を選択することは非常に重要なことだが、皆さん割と甘く見ている。

校友会優秀賞受賞者

感謝しています。そして弁論大会

解度を高めることができると私は
考えていました。

ぶ「駅伝」という種目を、日本に来て初めて知り、とても魅力を感じ

して三年がたち、四年生も残りわずかとなりました。入学当初は、まさか自分が本育会の委員長に



国際教養学科一年

準優勝をいたなくことができ、とても嬉しく思つたと共に日本大学の名前を残せて大変誇りに思います。この国際関係学部で知識を次の世代に繋げていきたいと思っています。

国際教養学科二年

日本大学での大学生生活が始まり、はやくも一年目を迎えるました。日本の生活にも慣れ、学業と練習に精一杯励んでおります。

日頃より校友の皆様をはじめ、たくさんの方々よりあたたかい激励のお言葉をいただき大変感謝しております。

昨年は、尊敬するガンドウ・ベンジ

れるよう頑張りたいと思います。
日本大学に入学し、たくさんのこと学ぶことができ私にとって本当にかけがえのない日々を過ごしております。また、今後多くのことを学びより一層充実した日々を過ごしていきたいと思います。今後ともご声援のほどよろしくお願ひいたします。

れるよう頑張りたいと思います。
日本大学に入学し、たくさんのこと学ぶことができ私にとって本当にかけがえのない日々を過ごしております。また、今後多くのことを学びより一層充実した日々を過ごしていきたいと思います。今後ともご支援のほどよろしくお願ひいたします。

各学生団体代表者

がンブットガール部の存在を知り、先輩たちの熱い勧誘活動を受け、もう一度スポーツをやることを決めました。今思うと、この決断が今日の私を形成する大きな要因であったと思います。

ここでやると決めた私ですが、練習中や試合中は常に持病との戦いでもありました。怪我が治らず、長いリハビリ期間があり幾度

「本 節 會」



難しく、単語や数字を覚えるのは簡単ではありませんでしたが、ドイツ語の授業の中で身につけることができました。また、四年生の先輩のアドバイスはとてもためになり、私にとって今でも偉大な存在です。

後期に入り、ドイツ語弁論大会があることを先生から聞き、出てみようと思いました。本番までの約一ヵ月間、ドイツ語の先生方には忙しいにもかかわらず一緒に練習をしていただき、また、たくさんのアドバイスをいただけたことに深く

学入学前に私の居住地の市民親善都市であるドイツ・ヴィマールに行く予定だったのがきっかけでした。その時は残念ながら行けませんでしたが、ドイツという国を調べていくうちに文化や歴史、言語に魅かれ、ドイツ語を勉強して必ずドイツに行きたいという強い思いが

という気持ちから約一ヶ月間南西ドライヴへ諸学研修を行ってきました。現地では違和感なしに溶け込み、楽しむことができ、また何よりも日頃の先生方からのご指導が本に帰国後、校友会優秀賞をいただけることを知りました。自分

国際教養学科二年 ダニエル ムイべ

機会に恵まれますが、練習の成果を最大限に發揮し、日本大学をはじめ、校友の皆様の期待に応えられるよう頑張りたいと思います。

日本大学に入學し、たくさんのことを学ぶことができ私にとって本当にかけがえのない日々を過ごしております。また、今後多くのことを学びより一層充実した日々を

もあり大学では運動部に所属しないでいるつもりでした。しかし、部活動紹介の時にたまたまアメリカンフットボール部の存在を知り、先輩たちの熱い勧説活動を受けもう一度スポーツをやることを決めました。今思うと、この決断が今日の私を形成する大きな要因であつたと思います。

國際交流學科四年
公山直弘



日本大学国際関係学部に入学
松山直弘

また、大学三年生になると、当時の体育会委員長の指名により、私が委員長という大役を任せてい

平成 24 年度 事 業 報 告

- 1 国際関係学部校友会会長賞等授与
 平成24年度日本大学国際関係学部在学生から、次の者が国際関係学部長から推薦された。
 ・校友会会長賞（副賞：奨励金）は、国際関係学部3名に贈られ平成25年3月25日の卒業式当日、グランドプリンスホテル新高輪秀賞において授与式が行われた。
 ・校友会優秀賞（副賞：奨励金）は、国際関係学部2名及び短期大学部3名に贈られ平成25年3月25日の卒業式当日、グランシードプリンス新高輪において授与式が行われた。
 ・校友会優秀賞（副賞：奨学金）は、国際関係学部2名に贈られ平成25年4月2日開講式当日授与式が行われた。
- ①校友会会長賞（副賞：奨励金）
 小林 誠司（国際文政学科4年） 中林 広希（国際ビジネス情報学科4年）
- ②校友会優秀賞（副賞：奨励金）
 ガントウ・ベンジャミン（国際文化学科4年） 白瀬 成美（国際文化学科4年）
 江打 真衣（専攻科食物栄養専攻2年） 澤田明日香（食物栄養学科2年）
- 諸星 楓（食物栄養学科2年）
- ③校友会優秀賞（副賞：奨学金）
 水田 真希（国際教養学科1年） ダニエルムイバ（国際教養学科2年）
- 1 日大スポーツ11
 1,150部を平成24年4月国際関係学部・短期大学部（三島）各学科の新入生全員に対して入学祝として渡した。
- 1 会報発行
 会報43号を平成24年9月1日付け20頁 3,000部を発行した。
- 1 各科同窓会等補助
 ①国際同窓会・桜栄会名簿作成に対する補助
 ②大学の体育会に対する補助
 ③箱根駅伝（予選会含む）応援に対する補助
 ④伊豆マラソン大会応援に対する補助
- 1 常任幹事会
 平成24年6月9日（土）16時から、国際関係学部三島駅北口校舎7階において開催した。
- 1 幹事会
 平成24年6月9日（土）17時から、国際関係学部三島駅北口校舎7階において開催した。
- 1 総会並びに懇親会
 平成24年7月21日（土）16時から、みしまプラザホテルにおいて開催した。
- 1 國際校友会公式WEBサイト開設
 平成24年4月から公式WEB（ホームページ）に年間5回に渡り校友会行事を写真集として更新しました。
- 1 箱根駅伝予選会応援
 平成24年10月20日（土）国営昭和記念公園コースのスタート・ゴール地点及び中間地点で応援した。
- 1 就職合同面接会
 平成24年12月7日（金）13時から17時まで、国際関係学部三島駅北口校舎6階に於いて国際関係学部・短期大学部の卒業予定者に対する就職支援の一環とした就職合同面接会を開催した。
- 1 箱根駅伝応援
 平成25年1月3日（金）復路スタート応援地点した。また、平成25年1月2日（木）往路ゴール応援地点および平成25年1月3日（金）復路スタート復路スタート応援地点で国際関係学部体育会所属ダンス部・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加した。
- 1 伊豆マラソン大会応援
 平成25年2月17日（日）修善寺駅北口スタート応援地点及び三島市役所別館ゴール応援地点で国際関係学部体育会ダンス部・文化会吹奏楽部と応援した。

平成 24 年度 取 支 決 算 書 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日) (単位:円)

支 出 の 部			取 入 の 部		
項 目	予 算 額	決 算 額	項 目	予 算 額	決 算 額
獎 学 費	450,000	340,000	会 費 収 入	14,530,000	14,530,000
日大スポーツ購入費	350,000	245,000	雜 収 入	480,000	579,416
校友会報發行費	250,000	266,700			△ 69,416
各科同窓会等補助	300,000	350,000			
学生団体補助	800,000	325,000			
総会並びに懇親会費	1,000,000	918,950			
箱根駅伝応援補助	1,000,000	775,630			
本部校友会会費	470,000	470,000			
卒業記念品費	2,000,000	2,563,840			
会議会合費	300,000	380,890			
通信運搬費	200,000	707,930			
ホームページ運営費	400,000	389,550			
事務費	700,000	438,335			
会員名簿作成費	2,500,000	1,827,396			
就職説明会運営費	400,000	293,664			
雜 費	800,000	1,103,282			
国際関係学部収益会員登録料金	250,000	250,000			
予備費	100,000	0			
計	12,270,000	11,746,177	計	15,010,000	14,902,416
基 金 保 有 額	0	0	基 金 繼 出 額	0	0
次 年 度 繰 越 金 (繰越金)	22,578,912	22,995,151	次 年 度 繰 越 金	19,838,912	19,838,912
支 出 の 部 合 計	34,848,912	34,741,328	取 入 の 部 合 計	34,848,912	34,741,328
		107,584			

貸 借 対 照 表 (平成 24 年 3 月 31 日現在) (単位:円)

借 方		貸 方	
項 目	金 額	項 目	金 額
普 通 預 金	38,410,688	基 金	16,830,000
定 期 預 金	1,830,000	前 年 度 繰 越 金	16,830,000
		本 年 度 繙 入 額	0
		本 年 度 繙 出 額	0
		次 年 度 繙 越 金	22,995,151
		前 受 金	0
		繰 戻 金	22,995,151
合 計	40,240,688	合 計	415,537
			40,240,688

基 金 の 内 訳

項 目	前 年 度 繰 越 額	本 年 度 繙 入 額	本 年 度 繙 出 額	合 計
基 金	16,830,000	0	0	16,830,000
日本大学創立150周年記念事業基金準備金	5,610,000	0	0	5,610,000
国際関係学部創立50周年記念事業基金準備金	5,610,000	0	0	5,610,000
三島学園開設75周年記念事業基金準備金	5,610,000	0	0	5,610,000
計	16,830,000	0	0	16,830,000

平成 24 年度収入について関係帳簿並びに証拠書類を精査いたしましたが、記帳その他正確であることを認めます。

平成 25 年 4 月 27 日

会計監査 宮川 守
藤本 文彦

平成 25 年度 事 業 計 画

- 1 国際関係学部校友会会长賞等授与（副賞：奨励金もしくは奨学生）
 日本大学国際関係学部及び短期大学部（三島校舎）を平成26年3月卒業・4月進級の予定者を対象とする。
 - 校友会会长賞並びに奨励金 国際関係学部 4年卒業予定者 3名
 - 校友会優秀賞並びに奨励金 国際関係学部 4年卒業予定者 3名
 - 校友会会长賞並びに奨学生 短期大学部（専攻科含む） 2年卒業予定者 3名
 - 校友会会长賞並びに奨学生 国際関係学部 1~3年生在学生 3名
 - 校友会会长賞並びに奨学生 短期大学部（専攻科含む） 1年生在学生 3名
- 1 日大スポーツ13
 1,120部を平成25年4月国際関係学部及び短期大学部（三島校舎）各学科の新入生全員に対して入学祝として渡す。
- 1 会報発行
 会報44号（平成25年9月1日付）24頁 3,500部。
- 1 各科同窓会等補助
 ①各科同窓会名簿作成の推進に対する補助。
 ②大学体育会・文化会に対する補助。
 ③箱根駅伝（予選会含む）応援に対する補助。
 ④伊豆マラソン大会応援に対する補助。
 ⑤全日本大学女子駅伝対校選手権大会応援に対する補助。
 ⑥全日本大学駅伝対校選手権大会応援に対する補助。
- 1 常任幹事会
 平成25年6月8日（土）16時から、国際関係学部本校校舎において開催する。
- 1 幹事会
 平成25年6月8日（土）17時から、国際関係学部本校校舎において開催する。
- 1 総会並びに懇親会
 平成25年7月20日（土）16時から、国際関係学部三島駅北口校舎において開催する。
- 1 國際校友会公式WEBサイト更新
- 1 就職合同面接会
 平成25年9月18日（水）国際関係学部三島駅北口校舎に於いて国際関係学部・短期大学部の平成25年度卒業式予定者等を対象とした県内本学出身代表者企業参加による就職合同面接会を開催する。
- 1 箱根駅伝予選会応援
 平成25年10月19日（土）国営昭和記念公園コースのスタート・ゴール地点及び中間地点で応援する。
- 1 全日本大学女子駅伝応援
 平成25年10月27日（日）仙台市陸上競技場スタート応援地点仙台市役所前ゴール応援地点で応援する。
- 1 箱根駅伝応援
 平成26年1月3日（金）復路スタート応援地点で応援する。また、平成26年1月2日（木）往路ゴール応援地点及び平成26年1月3日（金）復路スタート応援地点で国際関係学部体育会所属チアーディング部・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加する。
- 1 伊豆マラソン大会応援
 平成26年2月16日（日）修善寺駅北口スタート応援地点及び三島市役所別館ゴール応援地点で国際関係学部体育会所属チアーディング部・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加する。

平成 25 年度 収 支 予 算 書 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日) (単位:円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
項 目	本年度予算額	前年度予算額	差 额	項 目	本年度予算額	前年度予算額	差 额
奨 学 費	450,000	450,000	0	会 費 収 入	14,350,000	14,350,000	△ 180,000
日大スポーツ購入費	350,000	350,000	0	雜 収 入	540,000	480,000	60,000
校友会報発行費	250,000	250,000	0				
各科同窓会等補助	350,000	350,000	50,000				
学 生 団 体 補 助	800,000	800,000	0				
総会並びに懇親会費	1,000,000	1,000,000	0				
箱根駅伝応援補助	1,000,000	1,000,000	0				
本部校友会会費	470,000	470,000	0				
卒業記念品費	2,500,000	2,000,000	500,000				
会議会合費	300,000	300,000	0				
通信運搬費	1,000,000	200,000	800,000				
ホームページ運営費	400,000	400,000	0				
事 務 費	500,000	700,000	△ 200,000				
会員名簿作成費	1,800,000	2,500,000	△ 700,000				
就職説明会運営費	400,000	400,000	0				
日本大学30周年記念寄付金	100,000	0	100,000				
雜 費	800,000	800,000	0				
国際関係学部校友会会員支援基金	500,000	250,000	250,000				
予 備 費	100,000	100,000	0				
計	13,070,000	12,270,000	800,000	計	14,890,000	15,010,000	△ 120,000
基 金 繼 入 額	1,410,000	0	1,410,000	基 金 繼 出 額	0	0	0
次 年 度 繼 越 金 (繰越金)	23,405,151	22,578,912	826,239	前 年 度 繼 越 金	22,995,151	19,838,912	3,156,239
支 出 の 部 合 計	37,885,151	34,848,912	3,036,239	収 入 の 部 合 計	37,885,151	34,848,912	3,036,239

基 金 の 内 訳

(単位:円)

項 目	前 年 度 繼 越 額	本 年 度 繼 入 額	本 年 度 繼 出 額	合 计
基 金	16,830,000	1,410,000	0	18,240,000
日本大学創立150周年記念事業基金準備金	5,610,000	470,000	0	6,080,000
国際関係学部創立50周年記念事業基金準備金	5,610,000	470,000	0	6,080,000
三島学園開設75周年記念事業基金準備金	5,610,000	470,000	0	6,080,000
計	16,830,000	1,410,000	0	18,240,000

平成 25 年度役員

役	職	氏名(在学年度)
教 幹	養	宮崎茂樹(25・26)
幹	事	光信 優(26・27)
幹	事	塩田 浩(26・27)
幹	事	熊崎文二(26・27)
幹	事	與水啓一(26・27)
幹	事	廣田 均(26・27)
幹	事	後藤守雄(26・27)
幹	事	小林義尚(27・28)
幹	事	関本文彦(27・28)
幹	事	真部喜孝(27・28)
幹	事	長沢龍助(27・28)
幹	事	佐々木凱男(27・28)
幹	事	川崎一成(27・28)
幹	事	丸山富美男(28)
幹	事	坂詰正衛(28・29)
幹	事	望月知林(28・29)
幹	事	安東安生(29・30)
幹	事	寺崎哲郎(29・30)
幹	事	関 哲男(29・30)
幹	事	林田達郎(29・30)
幹	事	森 伸夫(30・31)
幹	事	道見俊廣(30・31)
幹	事	小野 武(30・31)
幹	事	馬場妙子(30・31)
幹	事	屋舎公平(30・31)
幹	事	根岸元宏(31・32)
幹	事	渡部浩司(31・32)
幹	事	大村日出雄(32)
幹	事	甲田知由(33)
幹	事	吉野洋一(35)
幹	事	鈴木 肇(35)
幹	事	御供政紀(35・36)
幹	事	小澤文郎(36)
幹	事	大西良雄(37)
幹	事	小川武司(37)
幹	事	多田清太郎(37)
幹	事	坂口正剛(37)
幹	事	小石川宣照(37)
幹	事	遠藤日出夫(37)
幹	事	渡辺博夫(37)
幹	事	栗山康雄(39)
幹	事	杉田朋昭(39)

役	職	氏名(在学年度)
	会長	相田信次(44・45)
	副会長	宮下公雄(54~57)
	副会長	横山雅人(56~59)
	副会長	濱田義之(45)
	副会長	山田浩子(41・42)
	副会長	江本博勝(46・47)
	副会長	野中美香(55・56)
	副会長	弓場重明(44・45)
	幹事長	田中由雄(42・43)
	常任幹事	関野幹雄(48・49) <small>(会長相当)</small>
	常任幹事	関野浩二(57~60) <small>(会長相当)</small>
	常任幹事	山瀬 匠(08・09) <small>(会長相当)</small>
	常任幹事	瀬川晶子(52・53) <small>(会長相当)</small>
	常任幹事	鈴木義樹(28・29)
	常任幹事	市川紀子(35・36)
	常任幹事	染谷徳昭(42・43)
	常任幹事	土屋貞明(42・43)
	常任幹事	林田孝二(43)
	常任幹事	山口良児(43・44)
	常任幹事	平岩美知子(44・45)
	常任幹事	久保田博明(45・46)
	常任幹事	遠藤晶子(45・46)
	常任幹事	西野和衛(46・47)
	常任幹事	瀬川 宏(47・48)
	常任幹事	神戸絹代(47・48)
	常任幹事	鈴木 尤(48)
	常任幹事	大島裕二(52・53)
	常任幹事	露木ひろみ(53・54)
	常任幹事	斎藤 聰(54~57)
	常任幹事	柳川浩昭(54~57)
	常任幹事	高野真一(54~57)
	常任幹事	松原裕二(54~57)
	常任幹事	小松徳弘(56~59)
	常任幹事	高野 誠(57~60)
	常任幹事	山本宏治(57~60)
	常任幹事	勝又義博(57~60)
	常任幹事	野田正人(62・63)
	常任幹事	久保和之(63・01)
	常任幹事	廣岡達郎(01~04)
	常任幹事	斎藤 実(01~04)
	常任幹事	藤澤博隆(03・04)
	常任幹事	明石浩一(05~09)
	常任幹事	渡邊孝哉(09・10)
	会計監査	宮川 守(47・48)
	会計監査	藤本文彦(52・53)

任期(H24.4.1 ~H27.3.31)

役	職	氏名(在学年度)
顧問	問	小椋貞夫(28・29)
顧問	問	角田義廣(30・31)
顧問	問	平井千枝(34・35)
顧問	問	柴田 正(41・42)
顧問	問	小早川隆義(42・43)
参考	与	渡辺洋子(35・36)
参考	与	岩崎一雄(43・44)

公式WEBサイト



URL <http://www.nu-ir-koyukai.jp/>

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹	事	金井美智子(38-39)	幹	事	小柴慶子(06-07)	幹	事	両角勇(42)
幹	事	小坂照子(38-39)	幹	事	勝又美咲(16-17)	幹	事	江川洋(42)
幹	事	塩谷まさよ(38-39)	幹	事	日吉智(23-24)	幹	事	藤幡俊量(46)
幹	事	井原康恵(38-39)	商経・二部			幹	事	高藤省三(49)
幹	事	望月千登世(38-39)	幹	事	村山要(30-31)	幹	事	瀧本博(53)
幹	事	浅田義志子(39-40)	幹	事	杉山敏明(34-35)	桜文会		
幹	事	秋山幸子(39-40)	幹	事	渡辺勝(38-39)	幹	事	岩崎尚枝(41-42)
幹	事	岡口瑠(39-40)	幹	事	久保田勝(38-39)	幹	事	小永井京子(43-44)
幹	事	福尾つや子(39-40)	幹	事	佐野勝己(39-40)	幹	事	高橋真理子(44-45)
幹	事	神部文子(39-40)	幹	事	土屋忠得(40-41)	幹	事	榎本睦美(46-47)
幹	事	伊達伸子(40-41)	幹	事	鈴木正八(44-45)	幹	事	石井千枝子(45-46)
幹	事	高橋美鶴(40-41)	幹	事	津田正克(50-51)	幹	事	松村啓子(51-52)
幹	事	石黒栄美子(41-42)	幹	事	甲斐幸博(51-52)	幹	事	佐野有美(52-53)
幹	事	鳥羽山資子(41-42)	幹	事	甲斐忠則(51-52)	幹	事	大塚久子(52-53)
幹	事	秋山悦子(41-42)	幹	事	後藤善夫(52-53)	幹	事	武田裕美(55-56)
幹	事	渡辺あき子(41-42)	幹	事	加藤喜章(53-54)	幹	事	勝亦幾代(56-57)
幹	事	嶋美也子(41-42)	幹	事	鈴木理平(54-55)	幹	事	北川早苗(56-57)
幹	事	伊藤睦(41-42)	幹	事	内野祥司(55-56)	幹	事	山崎睦子(57-58)
幹	事	駿藤春代(42-43)	幹	事	守野敏也(55-56)	幹	事	高野直美(58-59)
幹	事	石原泰代(42-43)	幹	事	山田良(55-56)	幹	事	阿部昭子(59-60)
幹	事	篠田光代(42-43)	幹	事	杉山勝行(57-58)	幹	事	神田留美子(60-61)
幹	事	影山貴美枝(43-44)	幹	事	黒田文量(59-60)	幹	事	白石忍(63-01)
幹	事	土屋時子(43-44)	幹	事	金城三十二(59-60)	幹	事	渡邊陽子(01-02)
幹	事	柴田敬子(44-45)	幹	事	武井直子(60-61)	幹	事	高麗真弓(03-04)
幹	事	川村千代子(45-46)	幹	事	土佐谷泰子(61-62)	幹	事	片柳容子(03-04)
幹	事	辻縁(45-46)	幹	事	田伏正和(01-02)	幹	事	古屋美帆(06-07)
幹	事	小林秀実(45-46)	幹	事	名雪しげみ(01-02)	幹	事	山崎幸恵(08-09)
幹	事	杉本清美(46-47)	幹	事	菅江稔(02-03)	幹	事	林隆子(09-10)
幹	事	佐藤奈津美(47-48)	幹	事	明石知恵美(02-03)	幹	事	成島敦子(09-10)
幹	事	鈴木佳津江(47-48)	幹	事	川原浩貴(03-04)	幹	事	星美保子(10-11)
幹	事	神田みづ子(47-48)	幹	事	小野和彦(03-04)	幹	事	工藤美咲(10-11)
幹	事	勝又昌代(48-49)	幹	事	坂口聖剛(03-04)	商経・一部		
幹	事	原康子(48-49)	幹	事	今川高宏(04-05)	幹	事	萩野谷肇(41-42)
幹	事	碓井久美子(49-50)	幹	事	町野智彦(05-06)	幹	事	上田定義(41-42)
幹	事	岩田智加子(50-51)	幹	事	池田昌史(08-09)	幹	事	加藤久貴(46-47)
幹	事	大沼めぐみ(50-51)	桜栄会			幹	事	秋山稔明(46-47)
幹	事	峰田富美子(51-52)	幹	事	成田伸行(08-09)	幹	事	野田栄(47-48)
幹	事	山口智佳子(51-52)	幹	事	山口玲子(34-35)	幹	事	多田清吾(47-48)
幹	事	堤令子(52-53)	幹	事	阿部麻子(35-36)	幹	事	辻本真由美(51-52)
幹	事	白井道代(52-53)	幹	事	木崎有里子(35-36)	幹	事	吉川浩司(54-55)
幹	事	石橋治代(52-53)	幹	事	渡辺かよ子(35-36)	幹	事	後藤幸江(58-59)
幹	事	岩崎美浪(52-53)	幹	事	板垣和代(36-37)	幹	事	斎藤みどり(59-60)
幹	事	竹内厚子(52-53)	幹	事	佐野茂子(36-37)	幹	事	長澤裕子(59-60)
幹	事	宮澤正江(52-53)	幹	事	小泉陽子(36-37)	幹	事	中村由美子(61-62)
幹	事	遠藤豊美(52-53)	幹	事	中村満里子(37-38)	幹	事	南まり子(03-04)
幹	事	長谷川規子(52-53)	幹	事	川口裕子(37-38)	幹	事	小池恭子(04-05)
			幹	事	米山日出子(37-38)	幹	事	白川美保(05-06)

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹	事	大水由佳(09·10)	幹	事	三宅理砂子(63·01)	幹	事	松川順子(52·53)
幹	事	田村理絵(09·10)	幹	事	野上香(63·01)	幹	事	松崎光子(52·53)
幹	事	内田恵(09·10)	幹	事	日吉美由紀(63·01)	幹	事	中澤小雪(53·54)
幹	事	渡邊明子(09·10)	幹	事	勝俣千穂(63·01)	幹	事	齊藤裕子(53·54)
幹	事	植野敦子(09·10)	幹	事	田村尚子(01·02)	幹	事	長田智子(53·54)
幹	事	佐野文美(10·11)	幹	事	杉村智恵(01·02)	幹	事	押見恵美子(53·54)
幹	事	秋山左知子(11·12)	幹	事	湯原里美(01·02)	幹	事	船石圭子(53·54)
幹	事	鞍本鮎美(11·12)	幹	事	久保田裕子(01·02)	幹	事	四條里美(53·54)
幹	事	尾間裕仁(11·12)	幹	事	市川智香(01·02)	幹	事	鶯果かほる(53·54)
幹	事	笠原奈津子(11·12)	幹	事	岡本ゆう子(02·03)	幹	事	藤原和美(53·54)
幹	事	宮田朋子(11·12)	幹	事	大山妙子(02·03)	幹	事	原田純子(54·55)
幹	事	田角典子(12·13)	幹	事	羽田真理子(02·03)	幹	事	池谷美津子(54·55)
幹	事	小林由佳(12·13)	幹	事	望月ゆりか(02·03)	幹	事	中澤由利子(54·55)
幹	事	赤川智海(12·13)	幹	事	安田ひとみ(03·04)	幹	事	佐伯絵里子(54·55)
幹	事	小出祐子(12·13)	幹	事	西村直子(03·04)	幹	事	伊藤若菜(54·55)
幹	事	峯松園美(13·14)	幹	事	宮本久美子(03·04)	幹	事	吉田麻理子(54·55)
幹	事	山田美穂(13·14)	幹	事	渡邊真理子(03·04)	幹	事	野中美香(55·56)
幹	事	遠藤友海(13·14)	幹	事	小澤知子(03·04)	幹	事	藤田建江(55·56)
幹	事	清水磨希子(13·14)	幹	事	出口幸子(04·05)	幹	事	小澤里佳子(56·57)
幹	事	高橋由実(13·14)	幹	事	井上雅代(04·05)	幹	事	深津久美子(56·57)
幹	事	米永寿子(13·14)	幹	事	西岡かおり(04·05)	幹	事	石谷美智子(56·57)
幹	事	渡邊晃子(13·14)	幹	事	田村美保(04·05)	幹	事	田中恵子(57·58)
幹	事	岩田直子(14·15)	幹	事	岩下志保(05·06)	幹	事	鳩由樹子(57·58)
幹	事	大沼秋桜子(14·15)	幹	事	関谷園子(05·06)	幹	事	鈴木江利子(57·58)
幹	事	高橋美絵子(14·15)	幹	事	渡邊千史(05·06)	幹	事	西田昭子(57·58)
幹	事	石渡麻史(14·15)	幹	事	川口由美子(05·06)	幹	事	鈴木敦子(58·59)
幹	事	服部直美(14·15)	幹	事	池谷尚美(05·06)	幹	事	武藤さゆり(58·59)
幹	事	秋山絵操(14·15)	幹	事	中村理恵子(05·06)	幹	事	荻沢洋子(58·59)
幹	事	山田真理子(14·15)	幹	事	遠藤理愛(05·06)	幹	事	平澤佳代子(58·59)
幹	事	小野順子(14·15)	幹	事	神尾かほり(05·06)	幹	事	山田明子(58·59)
幹	事	岩崎みづほ(14·15)	幹	事	田中里都美(06·07)	幹	事	谷井かほる(58·59)
幹	事	栗田裕子(15·16)	幹	事	鈴木寛子(06·07)	幹	事	鈴木佳乃(58·59)
幹	事	小林久美(15·16)	幹	事	山本静香(06·07)	幹	事	中條朝子(59·60)
幹	事	小林久美(15·16)	幹	事	佐藤純子(06·07)	幹	事	加藤容子(59·60)
幹	事	河原崎朱里(15·16)	幹	事	三須洋美(06·07)	幹	事	藤波佳乃(59·60)
幹	事	平澤怜子(15·16)	幹	事	齊藤真由美(06·07)	幹	事	藤井由紀子(59·60)
幹	事	榎原友希(15·16)	幹	事	和泉久美(07·08)	幹	事	榎菜桂子(60·61)
幹	事	田村美沙子(15·16)	幹	事	小野澤美和(07·08)	幹	事	穂谷野弥生(60·61)
幹	事	植松明葉(15·16)	幹	事	小林世以子(07·08)	幹	事	小島みちよ(60·61)
幹	事	荻島宏予(15·16)	幹	事	中林香子(07·08)	幹	事	久保玲華(61·62)
幹	事	渡邊裕未(15·16)	幹	事	水谷鯉恵(07·08)	幹	事	山下朋子(61·62)
幹	事	荒井沙織(15·16)	幹	事	横田忍(07·08)	幹	事	辻田則子(61·62)
幹	事	宇野浩吏(16·17)	幹	事	中橋智子(07·08)	幹	事	鶯尾貴子(62·63)
幹	事	星野成幸(16·17)	幹	事	神戸アリ沙(08·09)	幹	事	田上順子(62·63)
幹	事	渡邊尚(16·17)	幹	事	兼房はな(08·09)	幹	事	山口美樹(62·63)
幹	事	鈴木佳奈子(16·17)	幹	事	石崎由香(08·09)	幹	事	大須賀美穂(62·63)
幹	事	中西麻純(16·17)	幹	事	佐藤美幸(08·09)	幹	事	櫻田智栄美(63·01)

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹	事	三浦 仁(57~60)	幹	事	小見山伊代(21~22)	幹	事	増島清美(16~17)
幹	事	横田 正(57~60)	幹	事	山下あゆ(21~22)	幹	事	萩原美香(16~17)
幹	事	森田克彦(58~61)	幹	事	高村美帆(21~22)	幹	事	平川綾乃(16~17)
幹	事	佐上菊二(58~61)	幹	事	桑原里沙(22~23)	幹	事	綾部久美子(16~17)
幹	事	小塚敏久(58~61)	幹	事	小原美妃子(22~23)	幹	事	桑山理沙(16~17)
幹	事	横溝泰藏(59~62)	幹	事	塙谷彩子(22~23)	幹	事	飯田泰恵(17~18)
幹	事	池尻敏広(59~62)	幹	事	朝比奈涼子(22~23)	幹	事	石川裕里佳(17~18)
幹	事	山田竜作(60~63)	幹	事	篠原莉那(22~23)	幹	事	中山朋美(17~18)
幹	事	土田洋二(60~63)	幹	事	奈良彩夏(22~23)	幹	事	田中沙季(17~18)
幹	事	桑原健治(60~63)	幹	事	原賀あかり(22~23)	幹	事	堀田裕貴(17~18)
幹	事	渡辺武一郎(60~63)	幹	事	渡邊愛菜(22~23)	幹	事	瀧智草(17~18)
幹	事	木俣かおり(61~01)	幹	事	吉井愛依(22~23)	幹	事	隅田優美(17~18)
幹	事	増原伸一(61~01)	幹	事	鵜澤まゆか(23~24)	幹	事	岩代美貴(18~19)
幹	事	大塚重暁(63~03)	幹	事	江打真衣(23~24)	幹	事	加藤未奈(18~19)
幹	事	野口 厚(63~03)	幹	事	澤田明日香(23~24)	幹	事	深谷友香里(18~19)
幹	事	藤田 隆(63~03)	幹	事	諸星 楓(23~24)	幹	事	豊田彩香(18~19)
幹	事	佐藤淳悦(01~04)	幹	事	朝日健太(23~24)	幹	事	野口明日香(18~19)
幹	事	高橋博樹(01~04)	幹	事	木下史恩(23~24)	幹	事	藤井里奈(18~19)
幹	事	長谷川哲夫(01~04)	幹	事	鈴木沙羅(23~24)	幹	事	松井志保美(18~19)
幹	事	村上東洋男(01~04)	幹	事	田島理瑛(23~24)	幹	事	萬両美幸(18~19)
幹	事	須田啓一郎(01~04)	幹	事	深谷正城(23~24)	幹	事	福島健嗣(18~19)
幹	事	原田恭平(01~04)	幹	事	堀佑美佳(23~24)	幹	事	村松 海(18~19)
幹	事	椿 昌寛(01~04)	幹	事	守野恭介(23~24)	幹	事	奥山亞佐美(18~19)
幹	事	南 敦子(02~05)	工科			幹	事	富井映里(19~20)
幹	事	門脇正明(02~05)	幹	事	宮下正俊(39~40)	幹	事	木下涼平(19~20)
幹	事	藤原誠吾(02~05)	幹	事	菅沼 弘(39~40)	幹	事	中安美咲(19~20)
幹	事	前田智也(02~05)	幹	事	渡辺 清(42~43)	幹	事	藤井ゆかり(19~20)
幹	事	坂井利彰(02~05)	幹	事	赤地哲也(42~43)	幹	事	山本靖子(19~20)
幹	事	小田純子(02~05)	幹	事	吉田 力(44~45)	幹	事	三宅ひとみ(19~20)
幹	事	田辺裕司(02~05)	幹	事	長倉良幸(44~45)	幹	事	青木裕也(20~21)
幹	事	田松正樹(02~05)	幹	事	島田雷太(44~45)	幹	事	小林可南子(20~21)
幹	事	西岡昌仁(02~05)	幹	事	早川清文(45~46)	幹	事	石政未希(20~21)
幹	事	鎌田文一(02~05)	幹	事	三枝和彦(46~47)	幹	事	岩井友紀(20~21)
幹	事	沼尻正則(03~06)	幹	事	勝間田太住(47~48)	幹	事	澤木心美(20~21)
幹	事	若松はるか(03~06)	幹	事	天野寿一(48~49)	幹	事	杉本愛季(20~21)
幹	事	三宅大介(03~06)	幹	事	上原豊和(52~53)	幹	事	西原萌恵(20~21)
幹	事	清水 建(03~06)	幹	事	西家勝彦(52~53)	幹	事	森山麻里奈(20~21)
幹	事	小塚達郎(03~06)	幹	事	埜村光伸(53~54)	幹	事	横山千恵(20~21)
幹	事	紅林美智子(03~07)	幹	事	勝呂千明(53~54)	幹	事	市川佳夏子(20~21)
幹	事	佐藤治夫(04~07)	幹	事	鈴木啓太郎(54~55)	幹	事	鈴木あおい(20~21)
幹	事	千野琢麿(04~07)	国際			幹	事	宮下弘之(20~21)
幹	事	渡辺将之(04~07)	幹	事	川口智彦(54~57)	幹	事	青木萌子(21~22)
幹	事	杉山文予(05~08)	幹	事	諏訪部 健(55~58)	幹	事	長田知郁(21~22)
幹	事	江島照美(05~08)	幹	事	木村貴美和(55~58)	幹	事	清水 遥(21~22)
幹	事	室伏寛美(05~08)	幹	事	平野雅之(56~59)	幹	事	時吉結巳(21~22)
幹	事	田尻美三(05~08)	幹	事	福田勝弘(56~59)	幹	事	湯山菜名(21~22)
幹	事	青木 徹(05~08)	幹	事	宇田隆康(56~59)	幹	事	矢田さき(21~22)
幹	事	大嶽龍一(05~08)	幹	事	塙谷典子(56~59)	幹	事	清水祥子(21~22)

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹	事	浅井啓悟(17~20)	幹	事	鹿内隼人(12~15)	幹	事	沖倉保宏(06~09)
幹	事	芹沢 崇(17~20)	幹	事	齋藤慎亮(12~15)	幹	事	今川 慶(06~09)
幹	事	関谷紀志(17~20)	幹	事	山本克幸(12~15)	幹	事	田中智康(06~09)
幹	事	長谷川孝洋(17~20)	幹	事	柘植由美子(12~15)	幹	事	久芳 仁(06~09)
幹	事	勝呂 孝(17~20)	幹	事	豊永有美子(12~15)	幹	事	植松信二(06~09)
幹	事	中島由人(17~20)	幹	事	原 順子(12~15)	幹	事	小林寿成(07~10)
幹	事	小野弥咲(17~20)	幹	事	平野文星(14~15)	幹	事	望月雅子(07~10)
幹	事	篠原直人(17~20)	幹	事	小澤有礼(12~15)	幹	事	齊藤美根子(07~10)
幹	事	笠原菜央子(17~20)	幹	事	大野達男(12~15)	幹	事	繩細健太郎(07~10)
幹	事	古山結子(17~20)	幹	事	太田孝一(13~16)	幹	事	佐竹 篤(07~10)
幹	事	永野映吏可(18~21)	幹	事	山川利雄(13~16)	幹	事	川野梨恵(07~10)
幹	事	勝又智子(18~21)	幹	事	浅野雄介(13~16)	幹	事	高島寛幸(08~11)
幹	事	西岡 基(18~21)	幹	事	筒井友恵(13~16)	幹	事	正木創一(08~11)
幹	事	緒方義明(18~21)	幹	事	本多加奈(13~16)	幹	事	関根大助(08~11)
幹	事	後藤奈津子(18~21)	幹	事	山本彩子(13~16)	幹	事	井上善史(08~11)
幹	事	祭 興斌(18~21)	幹	事	小栗美緒(13~16)	幹	事	登ヶ谷祐人(08~11)
幹	事	松田健嗣(18~21)	幹	事	勧使河原武史(13~16)	幹	事	金子浩二(08~11)
幹	事	片柳健太(18~21)	幹	事	相見大輔(13~16)	幹	事	内田 修(08~11)
幹	事	松原 慎(18~21)	幹	事	板橋紗綾香(13~16)	幹	事	成田哲浩(09~12)
幹	事	木佐木枝里(18~21)	幹	事	武田泰弘(13~16)	幹	事	井上美由紀(09~12)
幹	事	金井尊史(18~21)	幹	事	浅石友里子(13~16)	幹	事	川合貴子(09~12)
幹	事	廣瀬公彦(19~22)	幹	事	渡邊頃子(13~16)	幹	事	井上明子(09~12)
幹	事	久保田真未(19~22)	幹	事	河野奈津子(14~17)	幹	事	徳田瑞希(09~12)
幹	事	佐川彩子(19~22)	幹	事	脇田千草(14~17)	幹	事	齊藤真規(10~13)
幹	事	御所園智仁(19~22)	幹	事	棚島 昇(14~17)	幹	事	長岡福也(10~13)
幹	事	砂原 誠(19~22)	幹	事	塙田泰章(14~17)	幹	事	筒井靖子(10~13)
幹	事	阿部裕樹(19~22)	幹	事	杉町カウエ(14~17)	幹	事	杉山祥啓(10~13)
幹	事	佐久間仁輝(20~23)	幹	事	小川 淳(14~17)	幹	事	大津留真紀(10~13)
幹	事	橋本康弘(20~23)	幹	事	内村 彩(14~17)	幹	事	大友仁美(10~13)
幹	事	張替祐介(20~23)	幹	事	渡邊賢治(14~17)	幹	事	佐野京子(12~13)
幹	事	山下昌志(20~23)	幹	事	井出知里(15~18)	幹	事	鈴木亜希子(12~13)
幹	事	本田怜央(20~23)	幹	事	石川奈緒子(15~18)	幹	事	園部真子(12~13)
幹	事	小林調史(21~24)	幹	事	井所博志(15~18)	幹	事	長谷川郁子(11~14)
幹	事	中林広希(21~24)	幹	事	金田亜由美(15~18)	幹	事	松下夏葉(11~14)
幹	事	野嶋聰(21~24)	幹	事	小倉宏紀(15~18)	幹	事	竹腰真裕子(11~14)
幹	事	白滝成美(21~24)	幹	事	宮腰治憲(15~18)	幹	事	後藤暢宏(11~14)
幹	事	茂木宏之(21~24)	幹	事	田野口暁太(15~18)	幹	事	竹村 直(11~14)
			幹	事	菅家奈都美(15~18)	幹	事	木下真由美(11~14)
			幹	事	薫谷和正(17~18)	幹	事	成田美雪(11~14)
			幹	事	岩井小百合(16~19)	幹	事	若月朋子(11~14)
			幹	事	鈴木弘明(16~19)	幹	事	齋藤久美絵(11~14)
			幹	事	竹川光一朗(16~19)	幹	事	川村友江(11~14)
			幹	事	黒子佳恵(16~19)	幹	事	猪狩博織(11~14)
			幹	事	大森未奈子(16~19)	幹	事	山下政幸(11~14)
			幹	事	笠倉 謙(16~19)	幹	事	中村久美(11~14)
			幹	事	中山優貴(17~20)	幹	事	鈴木さや夏(13~14)
						幹	事	川下知恵(12~15)

国際関係学部 校友会総会開催

議事が報告及び審議された。

- 平成二十四年度事業報告
- 平成二十四年度決算報告

監査報告

平成二十五年度新幹事選出

平成二十五年度事業計画(案)

平成二十五年度予算(案)

各周年事業準備金に関する件

日本部校友会関係行事等について

日本大学創立一三〇周年事業

募金について

各科同窓会活動報告

その他

国際関係学部校友会



山瀬匠常任幹事(会計担当)から決算報告書のとおり次年度繰越額三・五

六・三九円となった。その結果奨学生

準備金五〇〇,〇〇〇円、周年事業準

備金に各項目とも(四七〇,〇〇〇円、

翌年度繰越金一二四六・三九円と

する提案がなされ承認された。

本部校友会関係行事等については

田中由雄幹事長から平成二十四年七

月五日東京ドームホテルで開催された

平成二十五年度日本大学校友会役員

総会において提案及び審議項目につい

て報告がなされた。

日本大学創立一三〇周年事業募金

年度事業報告がなされ、統いて平成二

十四年度決算報告が山瀬匠常任幹事

(会計担当)から報告、宮川守会計監

査から監査報告があり、それぞれ承

認された。

田中由雄幹事長から平成二十四

年年度事業報告がなされ、統いて平成二

十四年度決算報告が山瀬匠常任幹事

(会計担当)から報告、宮川守会計監

査から監査報告があり、それぞれ承

認された。

統いて田中由雄幹事長から平成二

十五年度新幹事として国際関係学部六

名、商経学科一名、食物栄養学科十一

名を事務局から推薦したい旨の提案

があり承認された。

弓場重明副会長の司会で江本博勝

副会長の開会が伝えられ進行され、相

田信次会長挨拶の後、校友会に対し

功績があった石川貞夫氏に感謝状並

びに記念品の贈呈がされた。

統いて議事に移り、議長・司書記が

選出された。議長には多田清吾幹事、

副議長には齊藤聰常任幹事、書記に

は遠藤昌子常任幹事が選出され、次

続いて各周年事業準備金については

れば是非来校していただきたい旨の依頼がなされた。その後司会の弓場重明

副会長の閉会のことばで総会は終了

した。

今年度の同窓会総会・懇親会には

約五十名の卒業生来賓の先生方が集

いました。

総会では宮下同窓会会長より挨拶

があり、その後、事業報告、会計報

告と続き、次年度の事業計画が審議

されました。

懇親会におきましては、恩師であ

る先生方と共に会員同士が思い出話

を花を咲かせ、一層親睦を深め終始

和やかな雰囲気で歓談され、懇親会

は閉会となりました。

平成二十四年三月に竣工した建物で

JR三島駅北口より徒歩一分の場所

にあります。

今年度の同窓会総会・懇親会には

約五十名の卒業生来賓の先生方が集

いました。

総会では宮下同窓会会長より挨拶

があり、その後、事業報告、会計報

告と続き、次年度の事業計画が審議

されました。

懇親会におきましては、恩師であ

る先生方と共に会員同士が思い出話

を花を咲かせ、一層親睦を深め終始

和やかな雰囲気で歓談され、懇親会

は閉会となりました。

同窓会だより

国際関係学部同窓会



国際関係学部同窓会

「伝統と改革」



日本大学短期大学部教授
食物栄養学科長

室伏 誠

昭和三十四年以来の学科の歴史を見た建物がなくなりました。現在の九号館の東側にあります。調理実習室です。現在の調理実習室もそうですが、日本料理と西洋料理のそれぞれの実習室と先生方や助手の皆さんとの準備室・控室がありました。

今年の三月に、撤去が行われ現在は平地となっています。

そう言う私自身も昭和五十三年に三島に赴任して以来、この実習室で実習をしているところは見たことがありません。すでに、物置や清掃の皆さんの控室となっていました。実は私自身もこの実習室にはお世話をになりました。現在のように生物飼育室がなかった当時、海の魚の研究をするために必要な、大きな水槽を置かせていただいている

した。高級なシマアジやヒラアジなどが泳いでいるのをみて、是非お刺身にと懇願され、貴重な魚を提供したことがあります。

その後、記念館の横に生物飼育室が整備され、今では、めったに行くこともなくなっています。

実はこの倉庫、すでに十年以上も前から、その撤去をお願いしていました。壁が崩れてきており危険なことや、学科のある校舎の見栄えの悪さからです。

しかし、費用の関係でなかなか解体していただくことが出来ず

いましたが、昨年の施設設備委員会でお願いしたところ、関局長からすぐにお許しを出していただきて、この三月に撤去となりました。見通しも良くなつた跡地は、今後、学生の憩いの場として整備いただければと思つています。また、今年からは、すっかりおなじみになります。

今年の三月に、撤去が行われ現

います。

伝統を大切に、しかし新しい

ことへの挑戦も必要です。栄養士・管理栄養士を育成すること

を目的として進めてきました

「食栄」の教育の中で、これからも新たな挑戦を進めていかなければならぬと強く感じています。

桜栄会の皆様なますますの健勝をお祈り申し上げます。

お礼申し上げます。

会会報を通じてまた会員の皆様にお会いできることとなりました。

さて桜栄会も時代の流れとともに変革の時を迎えておりま

す。六月二十三日に開催され

した幹事会及び総会において桜栄会の組織や規約が改正され、新たな指針を掲げ活躍していくこととなりました。最初の活動として、大学祭での桜栄会主催の物産展の開催。優秀な栄養士を輩出することが母校発展に繋がることと捉え、物産展の収益の一部を管理栄養士の強化講座に寄付させていただきます。多くの会員の皆様のご来場を心よりお願い申し上げます。また、

学生の就職支援や記念講演会の開催など、母校はじめ地域の方々にも貢献できる会を目指し活動していくことを思つております。何卒会員の皆様の今までと変わらぬご支援ご鞭撻賜わりますよう切にお願いいたします。

卒業生の皆様、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。私は非常勤講師として食物栄養学の授業を担当することになり

二十三年、専任教員になってから十五年が経過し、本年度は専攻科食物栄養専攻の主任を仰せられました。

上田 龍太郎

日本大学短期大学部教授
専攻科食物栄養専攻主任



「専攻科 食物栄養専攻の状況」

会会報を通じてまた会員の皆様にお会いできることとなりました。

さて桜栄会も時代の流れとともに変革の時を迎えておりま

す。六月二十三日に開催され

した幹事会及び総会において桜

栄会の組織や規約が改正され、新たな指針を掲げ活躍していくこととなりました。最初の活動として、大学祭での桜栄会主催の物産展の開催。優秀な栄養士を輩出することが母校発展に繋がることと捉え、物産展の収益の一部を管理栄養士の強化講座に寄付させていただきます。多くの会員の皆様のご来場を心よりお願い申し上げます。また、

学生の就職支援や記念講演会の開催など、母校はじめ地域の方々にも貢献できる会を目指し活動していくことを思つております。何卒会員の皆様の今までと変わらぬご支援ご鞭撻賜わりますよう切にお願いいたします。

卒業生の皆様、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。私は非常勤講師として食物栄養学の授業を担当することになり

二十三年、専任教員になってから十五年が経過し、本年度は専攻科食物栄養専攻の主任を仰せられました。

上田 龍太郎

日本大学短期大学部教授
専攻科食物栄養専攻主任



桜栄会会長
野中 美香

桜栄会会員の皆様におかれま

しては、益々ご健勝のことと存

じます。

桜栄会会員の皆様もお元気に

ご活躍のこととお慶び申し上げ

ます。さて桜栄会の皆様には桜

栄会会報が昨年度をもちまして

最終号になる旨お伝えいたしま

したが、国際関係学部の校友会の方々のご配慮によりこの校友

創立十五年を迎えますが、本年度は一年生二十二名、二年生二十名、計四十二名が在籍し、授業や研究活動にいそしんでいます。専攻科設立当初は、修了時間管理栄養士国家試験の受験資格が得られましたが、その後栄士法の改正が行われ、現在では二年間の実務経験を経た後に受験資格が得られるようになりました。そのため、最近では短

大卒業後まず栄養士として働き、

先に実務経験を積んでから専攻科に入学する方も増えつつあります。

皆様方の中で、栄養士として働いているものの管理栄養士の資格取得を目指している方、あるいは子育てなどが一段落して新たな道を模索している方などがおられましたら、母校の専攻科で栄養学に関する最新知識を学ぶとともに、第二の青春を讃歌されてみてはいかがでしょうか。

「栄養士として巣立つて、いくのを楽しみに」



日本大学短期大学部教授
食栄十三期

神戸 紗代

桜栄会会員の皆様お元気でお過ごしでしょうか。

卒業後、実習助手として母校で勤務しながら管理栄養士を取得しました。これを機に、実務経験を積みたく病院の管理栄養士として働きました。平成九年からは母校で非常勤講師を兼務したことときつかけに仕事をし

ながら大学・大学院と社会人入學。病院勤務での栄養指導を通して、子供のころからの生活習慣の大切さを痛感し、多くの栄養士が食育に携われるよう後輩の指導に力を注ぎたいと平成十五年に現職に転職しました。時間はかかりましたが、昨年ようやく博士

も取得することができました。現在、栄養士として社会で求められる知識や技術は年々多様になっており、それに対応した授業は二年間の栄養士養成ではかなりタイトです。一方、近年では給料・仕事内容の待遇が他職種と比較して必ずしも優遇されていないことから、栄養士として就職する学生が減少しています。一人でも多くの学生が栄養士の仕事に就けるように学生を叱咤激励しながら、授業と学生指導に忙しい日々を送っています。

「栄養士として巣立つて、いくのを楽しみに」



「見えるけれど自分には見えないものは?」

日本大学短期大学部教授
食栄十三期

篠原 啓子

答えは眼鏡です。二十代まで

は眼の良いことが取り柄でした。学生時代、友達五人で映画を見に行く機会がありました。普段に現職に転職しました。時間はかかりましたが、昨年ようやく博士も取得することができました。現在、栄養士として社会で求められる知識や技術は年々多様になっており、それに対応した授業は二年間の栄養士養成ではかなりタイトです。一方、近年では給料・仕事内容の待遇が他職種と比較して必ずしも優遇されていないことから、栄養士として就職する学生が減少しています。一人でも多くの学生が栄養士の仕事に就けるように学生を叱咤激励しながら、授業と学生指導に忙しい日々を送っています。

「栄養士として巣立つて、いくのを楽しみに」



専攻科十三期

江打 真衣

日本大学短期大学部教授
食栄四十九期



山本 優里

短大を卒業して保育園で働き五年目になりました。二人の栄養士で一五〇食の給食を作っています。

私は幼い頃から食べることが好きです。しかし、ただ食べるだけではなく、食べ物が体にどのような影響を与えるのか勉強したくな

り栄養士を目指しました。そして栄養士になった今、食べ物の力で人々を健康にしたいと思い、病院の栄養士として働いています。

私の仕事は、食事の盛り付け、配膳はもちろん、病棟へ行つて患者様と食事について伺つたり、病気が原因で嚥下が困難になった人のための嚥下食を作つています。毎日が時間との戦いです。しかし、実際に学生の頃学んだことが現場で役立つと、栄養士の自分がもっと成長したようにも思えます。辛い

中近用やブルーライトカットのパソコン用、度付サングラスと一緒にしていった眼鏡もレンズを変え車の運転用に使っています。

おばさんになつたのでお隠しで勤務しながら管理栄養士を取得しました。これを機に、実務経験を積みたく病院の管理栄養士として働きました。平成九年からは母校で非常勤講師を兼務したことときつかけに仕事をし

ますが、異なる眼鏡を掛ける時、違う自分になるようなちょっととしたドキドキ感が好きです。

「子ども達の笑顔のために」

養士になりたいです。



山本 優里

短大を卒業して保育園で働き五年目になりました。二人の栄養士で一五〇食の給食を作っています。

私は幼い頃から食べることが好きです。しかし、ただ食べるだけではなく、食べ物が体にどのような影響を与えるのか勉強したくな

り栄養士を目指しました。そして栄養士になった今、食べ物の力で人々を健康にしたいと思い、病院の栄養士として働いています。

私の仕事は、食事の盛り付け、配膳はもちろん、病棟へ行つて患者様と食事について伺つたり、病気が原因で嚥下が困難になった人のための嚥下食を作つています。毎日が時間との戦いです。しかし、実際に学生の頃学んだことが現場で役立つと、栄養士の自分がもっと成長したようにも思えます。辛い

中近用やブルーライトカットのパソコン用、度付サングラスと一緒にしていった眼鏡もレンズを変え車の運転用に使っています。

おばさんになつたのでお隠しで勤務しながら管理栄養士を取得しました。これを機に、実務経験を積みたく病院の管理栄養士として働きました。平成九年からは母校で非常勤講師を兼務したことときつかけに仕事をし

「小佐野嘉子先生を
偲んで」



られるのは「あなた、母校の講師として後輩をしっかりと指導してよ」との先生のお言葉でした。

とおもいます。

桜栄会事務局より

して、ひもの、ダシパック、麺菓子、野菜等を販売し、売り上げの一部を、学生の管理栄養士の強化講習資金に役立てたいと思います。

今後も継続できるよう、皆様方からの多方面のサポートをいただければ幸いです。

長く先生の教えを語り続けまして書くため、五年余の歳月をかけ静岡県の各地を回り、夜遅くまでかけ、その原稿を仕上げたことも、いまは良い思い出となりました。二十数年前は今のように町おこし、村おこしなどと騒がれない時代にあって郷土料理も地に埋もれていたとき、先生は現在のB級グルメを予想してか郷土料理に着目されておりました。おかげさまで今は、私の教科書や出版物に先生の御名前や写真等各所に掲載させていただいております。

桜栄会が始まって以来お世話になりましたのでお知らせ致します。

今回、桜栄会として、十一月に行なわれる大学祭に、三日、四日の二日間、初めての試みで参加する予定です。地域の物産を集め、三島駅北口校舎に出店をいたします。

同窓生、関係者の協力の元多くの物産を集める事ができますよう、又当日多くの人へ来ていただけるよう、準備をして行きたいと思っております。予定と

日本短期大学部非常勤講師
栄養一期

渡辺(鈴木)洋子

日本短期大学部非常勤講師
栄養一期

去る四月十日小佐野先生は、永眠致しました。三浦半島の先端に在る有料ホームから病院に入院して二ヶ月間と聞きました。私にとりましては教えを得た生徒として、一緒に働かせて頂いた恩師として、思い出が甦り悲しみが込み上げてまいります。

先生がホームに入所されていましたとき、お伺いしますと玄関まで杖をついて出られ、私の姿が見えなくなるまで送ってくださいました。先生はいつも堂々として生

きい出され、あれが最後のお別れと思うと残念でなりません。先生は、私が赤堀学園の就職試験を受ける時、東京まで付き添つてくださいました。今、講師として後輩の指導にあたつてい

るのには「あなた、母校の講師として後輩をしっかりと指導してよ」との先生のお言葉でした。

先生に大学によんでいただき、先生とご一緒に郷土料理の論文を書くため、五年余の歳月をかけ静岡県の各地を回り、夜遅くまでかけ、その原稿を仕上げたことも、いまは良い思い出となりました。二十数年前は今のように町おこし、村おこしなどと騒がれない時代にあって郷土料理も地に埋もれていたとき、先生は現在のB級グルメを予想してか郷土料理に着目されておりました。おかげさまで今は、私の教科書や出版物に先生の御名前や写真等各所に掲載させていただいております。

桜栄会が始まって以来お世話になりましたのでお知らせ致します。

小佐野嘉子先生
(平成二十五年四月)
浅野 良哉先生
(平成二十五年二月)

先生は軍人の家庭で育てられ、厳格ですじの通ったお人柄であります。だが、親切でやさしく多くの学生をそだてられました。

阿部 幸穎先生
(平成二十五年四月)

日大食料科長として、創設時の嚴格ですじの通ったお人柄であります。だが、親切でやさしく多くの学生をそだてられました。先生はいつも堂々として生きい出され、あれが最後のお別れと思うと残念でなりません。先生は、私が赤堀学園の就職試験を受ける時、東京まで付き添つてくださいました。今、講師として後輩の指導にあたつてい

るのには「あなた、母校の講師として後輩をしっかりと指導してよ」との先生のお言葉でした。

平成24年度桜栄会収支報告書
(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

収入の部		支出の部	
料金	額	料金	額
会員費収入	0	会員費行費	0
会員登録料	256,000	通信運賃	17,840
利息収入	708	会員並びに懇親会費	248,290
被服収入	414,300	会議会費	1,800
貢受金	0	会議費	82,364
前年度総越金	3,609,050	支出	114,971
		次年度総越金	3,834,742
合計	4,280,067	合計	4,280,067

貸借対照表	
借方	貸方
料金	料金
普通預金	1,182,742
定期預金	2,652,000
合計	3,834,742
会計監査	西田 郁子

平成24年度収支について、開帳帳簿並びに収支書類を検査いたしましたが、記帳その他の勘正確であることを認めます。

物産展申し込み連絡先
日本大学短期大学部食物栄養学科研究室 担当 久保田 電話番号〇五五(九八〇)〇八四〇

日本大学短期大学部桜栄会会則

第1章 総 則

- (名 称)
第1条 本会は日本大学短期大学部桜栄会と称する。
(事務局)
第2条 本会は事務局を静岡県三島市文教町2丁目31番145号 日本大学短期大学部内に置く。

第2章 目的及び事業

- (目的)
第3条 本会は会員相互の親睦と融和をはかり母校の発展に寄与すると共に母校建学の理念を社会に拡充することを目的とする。
(事業)
第4条 会は前条目的達成のために次の事業を行う。
1 会員名簿の管理作成
2 会員相互の親睦と融和をはかるための諸事業
3 母校の発展興隆に関する諸事業への協力参加
4 その他目的達成のために必要な諸事業

第3章 会 員

- (会員構成)
第5条 本会は日本大学短期大学部栄養科・家政科・生活文化学科・食物栄養学科・専攻科食物専攻の卒業生をもって構成する。

第4章 役 員

- (役員構成)
第6条 本会は次の役員を置く。
会長 1名
副会長 若干名
事務局長 1名
事務局次長 1名
常任幹事 若干名
幹事 若干名
会計 1名
会計監査 1名

- (顧問)
第7条 本会は顧問を置くことができる。
顧問は幹事会の議を経て会長が委嘱する。
(役員の選出)
第8条 会長は常任幹事会で推薦され、総会にて承認を得るものとする。
2 副会長は会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
3 事務局長は常任幹事から会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
4 庁務担当・会計担当は常任幹事から事務局長が指名し、幹事会に報告するものとする。

- (任期)
第9条 各役員の任期は3年とし再任は妨げない。
2 各役員の欠員が生じたときは、必要に応じて補選し、その任期は前任者の残任期間とする。
3 各役員が任期満了した場合においても、後任者が就任するまでの間その職務を行う。

- (役員の職務)
第10条 会長は本会の代表として会務を統括する。
2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
3 事務局長は事務を統括し、本会運営に必要な一切の事務事項を遂行する。
4 常任幹事は幹事の互選により選出し、常任幹事会を構成し、本会業務の遂行にあたる。
5 幹事は幹事会を構成し、本会運営の諸事項の議決にあたる。
6 顧問は本会の重要事項について、会長の諮問に応ずるものとする。

第5章 会 議

- (会議及び議決方法)
第11条 本会の会議は、総会、常任幹事会、幹事会の3種とする。

- 2 会議は会長が招集し、議長団はその都度選出する。
3 やむを得ない場合は、常任幹事会及び幹事会をもって総会に代わることができる。

(会議の構成及び開催)
第12条 本会は目的達成のため下記の機関を置く。

- 2 総会は本会運営上の諸事項についての報告を受けこれを承認する。
総会は会長がこれを招集する。
3 常任幹事会は常任幹事以上の役員を以て構成し、本会の執行期間として本会の実質的運営にあたる。常任幹事会は必要に応じて隨時会長がこれを招集する。常任幹事3分の1以上の要求があった場合はこれを招集しなければならない。
4 幹事会は総会の代行機関として第13条の事項を付議し、これを議決する。幹事会は年1回以上開催するものとし、会長がこれを招集する。幹事3分の1以上の要求があった場合は臨時に招集しなければならない。
5 事務局は事務局長指示のもと会員相互の連絡及び各会議の収録並びに運営に関し必要な一切の事務を行う。

(総会の審議)

- 第13条 総会は次の事項を審議し議決する。
2 会則及び重要規程の制定、改廃に関する事項
3 事業計画に関する事項
4 予算・決算に関する事項
5 会長の選任に関する事項
6 その他必要と認められた事項

第6章 支 部

(支部の設置)

- 第14条 本会は円滑な発展と交流の促進のために支部を設けることができる。
2 支部の設置条件および方法は別に定める。

第7章 会 計

(会計年度)

- 第15条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(経費)

- 第16条 本会の経費は、会費並びに寄付金その他の収入を以てこれに充てる。

(会計監査)

- 第17条 会計監査は本会会計及び財務について監査し、その結果を総会に報告する。

第8章 会 則

(会則の変更)

- 第18条 本会の会則の変更是総会の議を経てそれを決する。

(会則の遵守)

- 第19条 短期大学部桜栄会は国際関係学部校友会会則及び支部規程を遵守しなければならない。

(施行細則)

- 第20条 この会則に必要な細則は常任幹事会の議決を経て会長がこれを施行する。

付 則

昭和36年4月	1日発足
昭和37年4月	1日改正
昭和39年4月	1日改正
昭和41年5月	1日改正
昭和42年4月	1日改正
平成2年4月	1日改正
平成11年4月	1日改正
平成12年4月	1日改正
平成13年4月	1日改正
平成25年6月23日	改正

桜栄会の皆様へ

桜栄会の皆様には、日頃から食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻の教育活動にご理解とご協力を賜わりまして心から感謝いたします。

さて、今日少子化が進む中、大学への進学希望者は年々減少し、特に短期大学への進学者数は目の見えて減ってきております。本学科では、ほぼ定員は確保しておりますものの、大変厳しい状況が続いております。幸いにも本学科におきましては十数年に専攻科を開設し教育的には四年制大学と同等の教育や学士（栄養学）の取得、さらに大学院への進学も可能となり、教育水準も維持しています。歴史と伝統を有する本学科の維持・発展を期して、日々の教育・指導に一層努めてまいりますので、よろしくご支援のほどお願い申し上げます。なお、平成二十六年度の入試日程をご参考のうえ、お知り合いの栄養士資格の取得を希望される受験生や社会人の受験をご案内いただければ幸いです。また、管理栄養士を目指す学生の専攻科進学を進めておりますが、近年では社会人になられた卒業生も、さらに専門的知識や技術を習得し、管理栄養士を目指して入学されています。平成二十三年度より、管理栄養士国家試験対策室を立ち上げ、昨年度はそのサポート体制を整備し合格者を増やしています。なお、下記製菓衛生士コースは他校に比べ安価（一年間十五万円、二年間で国家試験受験資格取得）ですが、しっかりと指導体制で毎年多くの皆さんのが国家試験に合格しています。通信制ですので、大学へは、年二回のスクーリングのみ参加です。ぜひチャレンジしてください。

保健体育審議会推薦(第2期)

対策室開設
管理栄養士国家試験対策

学科で卒業生も取得できる資格
《製菓衛生師（国家試験受験資格）》

専攻科 食物栄養専攻		食物栄養学科・ビジネス教養学科																		
区分	学内入試	AO入試 (第1期)		一般推薦		保健体育審議会推薦 (第1期)	付属特別推薦	提携校推薦	付属推薦	選抜方式(B方式)		大学入試センター試験利用C方式 (第1期)		AO入試(第2期) (第1期)		一般入学試験 (N方式第1期)		大学入試センター試験利用C方式 (第1期)		
		一般入試	指定期制	公募制	AO入試 (第1期)					付属推薦	選抜方式(A方式)	推薦方式(B方式)	付属推薦	AO入試 (第2期) (第1期)	付属推薦	AO入試 (第2期) (第1期)	付属推薦	AO入試 (第2期) (第1期)	付属推薦	AO入試 (第2期) (第1期)
試験日	7月4日本 11月10日 11月12日(火)	11月13日(木)				11月12日(火)		12月10日(火)		1月18日(土) 1月19日(日)		2月1日(土)	2月3日(月)		2月15日(土)		1月18日(土) 1月19日(日)		3月10日(月)	

上記日程については変更する事がありますので、詳細については大学入試事務室(055-980-1919)までお問い合わせください。

現カリキュラム(科目)	対応する授業名	講義担当予定者
社会・環境と健康	公衆衛生学 健康管理概論	小橋恵律教授・石川元康准教授 未定
人体の構成と機能及び疾患の成り立ち	解剖生理学 病理学・疾病学 生化学	室伏誠教授 小橋恵律教授 中島久男教授
食べ物と健康	調理学・食品学・ 食品加工学 食品衛生学	三橋富子教授 太田尚子教授 上田龍太郎教授
基礎栄養学 応用栄養学 栄養教育論 臨床栄養学 公衆栄養学 給食経営管理論	栄養学 応用栄養学 栄養教育論 臨床栄養学 公衆栄養学 給食経営管理論	中島久男教授 神戸絹子教授 篠原啓子准教授 池田裕美准教授 未定 神戸絹代教授

平成二十三年四月より、旧管理栄養士国家試験強化講座を廃止し、「管理栄養士国家試験対策室」を立ち上げました。専用教室を設置し、四月から翌年三月までの十二ヶ月を、管理栄養士国家試験のための講座や模擬試験等を定期的に行つて、専攻科学生や卒業生の管理栄養士国家試験合格者数増を目的としています。平成二十五年度は、第二回模試（十月二十七日）、第三回模試（二月二日）を予定しています。平成二十六年度も、さらに充実したものとしていく所存です。ぜひご参加願います。

平成二十六年度から、食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻では、茨城県にある「つくば栄養調理製菓専門学校」との連携で、製菓衛生師国家試験受験資格を取得できる通信教育課程を開設しております。製菓衛生師とは、製菓・製パン業務に就く際に取得していることが望ましい唯一の資格で、近年の食に関する資格の中で最も人気の高いものです。本学では、二年間の在学中に、通信学習（月一回の課題提出）、夏季と春季のスクーリング（各五日）および指導校研修（一日）で効果的に修得できます。毎年四月から開講です。

《介護職員初任者研修》

介護職員初任者研修は、昨年度までホームヘルパー2級、訪問介護員とも呼ばれ、高齢者や心身障害者などの身体の介護や家事サービスを提供し、自宅での自立を支援します。厚生労働者が指定する講座を修了することで修得でき、高齢化社会を迎えるニーズの高い資格です。本講座はニチイ学館と連携した本学科単独の通信講座で、食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻を対象にカリキュラムを編成し、

開講します。

お問い合わせは、食物栄養学科研究室
TEL..〇五五-一九八〇-〇八四〇
FAX..〇五五-一九八〇-〇八四六
E-mail:murofushimakoto@nihon-u.ac.jp

日本大学国際関係学部校友会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は日本大学国際関係学部校友会と称する。

(事務局)

第2条 本会は事務局を静岡県三島市文教町2丁目31番145号に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 本会は会員相互の親睦と融和をはかり母校の発展に寄与すると共に母校建学の理念を社会に拡充することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は前条目的達成のために次の事業を行う。

- 1 会報発行・会員名簿の作成
- 2 会員相互の親睦と融和をはかるための諸事業
- 3 母校の発展興隆に関する諸事業への協力参加
- 4 その他目的達成のために必要な諸事業

第3章 会 員

(会員構成)

第5条 本会は日本大学三島予科・三島教養部・文理学部三島・短期大学部（三島校舎）・専攻科食物栄養専攻・国際関係学部・大学院国際関係研究科の出身者および在籍した者による正会員と幹事会において本会に関係が深く功労があると認められた特別会員・名誉会員並びに準会員である国際関係学部・大学院国際関係研究科・短期大学部（三島校舎）の在学生をもって構成する。

- 2 特別会員・名誉会員並びに準会員は議決権は有しないものとする。

(会 費)

第6条 会員は規程の定めるところにより、会費を納入しなければならない。

- 2 会費及び徴収方法は別に定める。
- 3 特別会員・名誉会員は会費を徴収しないものとする。

第4章 役 員

(役員構成)

第7条 本会に次の役員を置く。

- 会長 1名
副会長 若干名
幹事長 1名
常任幹事 若干名
幹事 若干名
会計監査 2名

(顧問・参与)

第8条 本会は顧問・参与を置くことができる。

- 2 顧問・参与は幹事会の議を経て会長が委嘱する。

(役員の選出)

第9条 会長は会長・副会長会議で推薦され、総会にて承認を得るものとする。

- 2 副会長は国際関係学部校友会を構成する各同窓会会長或は在学した者の代表者とし会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 3 幹事長は常任幹事から会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 4 常任幹事から庶務担当・会計担当を幹事長が指名し、会長・副会長会議に報告するものとする。

(任 期)

第10条 各役員の任期は3年とし、再任は妨げない。ただし満80歳をもって定年とする。なお、期間は当該年度内とする。

- 2 欠員が生じたときは、必要に応じて補選し、その任期は前任者の残存期間とする。
- 3 任期満了した場合においても、後任者が就任するまでの間その職務を行う。

(役員の職務)

第11条 会長は本会を代表し会務を総括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
- 3 幹事長は事務を統括し、本会運営に必要な一切の事務事項を遂行する。
- 4 常任幹事は幹事の互選により選出し、常任幹事会を構成、本会業務の遂行にあたる。
- 5 幹事は幹事会を構成し、本会運営の諸事項の議決にあたる。
- 6 顧問・参与は本会の重要事項につき、会長の諮問に応ずるものとする。

なお、顧問・参与には役員に関する規定を準用する。

第5章 会 議

(会議及び議決方法)

第12条 本会の会議は、総会・会長、副会長会議・常任幹事会・幹事会の4種とする。

2 会議は会長が招集し、議長団はその都度選出する。

3 やむを得ない場合は、常任幹事会及び幹事会をもって総会に代ることができる。

(会議の構成及び開催)

第13条 本会は目的達成のため下記の機関を置く。

2 総会は本会運営上の諸事項についての報告を受けこれを承認する。

総会は年1回開催するものとし会長がこれを招集する。

3 常任幹事会は常任幹事以上の役員を以て構成し本会の執行機関として本会の実質的運営にあたる。常任幹事会は必要に応じて随時会長がこれを招集する。常任幹事3分の1以上の要求があった場合はこれを招集しなければならない。

4 幹事会は総会の代行機関として第14条の事項を付議し、これを議決する。

幹事会は年1回以上開催するものとし会長がこれを招集する。幹事3分の1以上の要求があった場合は臨時に招集しなければならない。

5 事務局は幹事長指示のもと会員相互の連絡及び各会議の議事の収録並びに運営に必要な一切の事務を行う。

(総会の審議)

第14条 総会は次の事項を審議し議決する。

2 会則及び重要規定の制定、改廃に関する事項。

3 事業計画に関する事項。

4 予算・決算に関する事項。

5 会長の選任に関する事項。

6 その他第4条に基づいて必要と認められた事項。

第6章 支 部

(支部の設置)

第15条 本会は円滑な発展と交流の促進のために支部を設けることができる。

2 支部の設置条件及び方法は別に定める。

第7章 会 計

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(経費)

第17条 本会の経費は、会費並びに寄付金その他の収入を以てこれを充てる。

(会計監査)

第18条 会計監査は本会会計及び財務について監査し、その結果を総会にて報告する。

第8章 会 則

(会則変更)

第19条 本会の会則の変更は総会の議を経てこれを決する。

(会則の遵守)

第20条 国際関係学部校友会は日本大学校友会会則及び支部規程を遵守しなければならない。

(施行細則)

第21条 この会則に必要な細則は会長・副会長会議及び常任幹事会の議決を経て会長がこれを施行する。

第9条 表 彰

(表彰)

第22条 本会の目的及び事業に貢献した者は幹事会の議を経て、これを賞することができる。

2 卒業予定者及び在学生に対する会長賞等の表彰規定は別に定める。

第10章 除 名

(会員除名)

第23条 会員が次の事項に該当した行為があったときは幹事会の議を経て除名することができる。

2 国際関係学部の名誉を傷つけ、また校友としての品位を害する言動があったとき。

3 校友会の秩序を乱したとき。

4 故意または重大な過失により校友会に損害を与えたとき。

付 則 本会則は平成23年8月1日より施行する。

日本大学校友会組織図

日本大学校友会(校友会本部事務局)

都道府県支部(65 支部)

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・帯広・留萌・苫小牧・網走・釧路)
東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)
関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)
東京ブロック(東京都第一・東京都第二・東京都第三・東京都第四・東京都第五・
東京都第六・東京都第七)
東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)
北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)
近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)
中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)
四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)
九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会(16 部会)

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際・理工・生産工・工・医・看・松戸歯・生物資源科・薬・通信

職域別部会(4 部会)

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会

桜門会(80団体)

海外特別支部(8 支部)

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・インドネシア

日本大学国際関係学部校友会組織図

国際関係学部校友会
(旧三島同窓会)

三島豫科
三島教養部
文理学部(三島)

短期大学部
桜文会(国文・英文)
商経科同窓会(1・2部)
桜栄会(栄養・家政・食栄・生活)
工科同窓会(建築・機械)

国際関係学部同窓会